

アップル

岡本 悠

みさき、は、引っ越した

千葉に住むのは、初めてだ

ここは、千葉県、行徳

新しい職場を探す訓練として

この家に住むことになった

1人暮らしの1Kアパート

夏、真っ盛りだ

仕事練習場には

なかなか足が向かなくなっていた

キャバクラや、フィリピンパブに、入り浸るようになっていた

そして、何気なく入ったスナックで、1人のフィリピン人の女性と出逢う

丸顔の、ゴルフの宮里藍ちゃんのような、

かわいくて、元気な女性だ

幾分、何ごともなく過ごしていたある日、

メールが来た

また、おいでよ

ちょっと、行ってみようか、どんな子だっけ？

すると、アップルは

元気い？

店は、中国人の女性がママで

日本人の女性もいた

カラオケで、浜崎あゆみの「WHATEVER」を歌っていると、

客の男が「俺は、浜崎の歌が嫌いだ」と、言っている

かまわず、歌った

帰ろうとした違う客が、俺に手を見せてと言って

「君の手は、仕事をしている、手じゃないね」

と、からかった

アップルは、みさき、が、怒ってないか心配したが、大丈夫だった

みさき、は、しばらくして、アップルを見つめた

ずっと、見つめていたが、アップルもずっと見つめ返した

みさき、が、「疲れないの？」と聴くと

「疲れる」と答えた

その後、この店に通い始めるようになった

しばらくして、同伴出勤するようになった

みさき、が、いつも遅く来るのが癖だねと言うと

アップルは、二の腕の辺りにパンチをした

けっこう痛かった

ある日は、仕事練習場の社長がいた

マズイと思って、カウンターに座り逆側を向いたが

向こうも気まずそうにしていたので

気づいていただろう

帰る際、上着を忘れた、みさき、は、携帯で、店の中にいるアップルに何度も「上着を持ってきてくれ」と云ったが、アップルはいぶかしがったので、自分で取って出た

この日は、店に行く前に、ステーキ屋で、2人でステーキを食べた

1人の男が、アップルに話しかけたので、みさき、は、隠れた

アップルが「どうしたの？」と聴くと、みさき、は、「悪いと思って」と返した

アップルが家の中に遊びに来た

「汚い家だね」と云ったが、アコースティックギターを見ると、「あー」と指を指して、目を輝かせてキュンッとなった 「弾けるの？」と聴くので 「まあ、少しは…」と答えた

2人でベッドの中に入り、お笑い番組のビデオを見た、見終わった時、みさき、が、ジーパンを脱いでパンツ姿になっていたの、アップルは「きもちわるーい！」と、慌てて外へ出ようとした、みさき、は、「そうじゃないよ」と云ったが、アップルは玄関のドアを開けて外にでると、みさき、が警戒したので、それを見てニヤッと笑い「べー！」と言って、帰った

ある日は、映画を観に行った

マクドナルドで食事を済ますと、韓国ドラマを見た、みさき、は泣いた、アップルは、というと、日本語も片言だったので、韓国語はわからないし、日本語の字幕も読めない、アップルは、だから、英語の映画が見たかったと怒り、「1人で泣いてばかりいてさ…」と、呟いた

アップルの家に遊びに行った

水槽には、魚がたくさんいた

ムードがよくなったので、みさき、は、ベッドにアップルを誘おうとした

しばらくして、アップルも誘おうとしたが...

その時、ガンガンと家を叩く音、仕方なくアップルがドアを開けると、アップルの妹がいた ジ・エンド

みさき、の誕生日には、アップルはケーキを買って、近くの店に持ち込んで食べた、

みさきちゃん、というチョコのカードを見て、遠くの客のカップルの男が、「ちゃん、だって」と話している、もう1人の彼女は「いいから、いいから」となだめた
みさき、は、意外と傷ついた、アップルの優しさを殴られたからだ

季節も、秋から冬へと流れていた

愉快的な広場では、ミッキーマウスたちが遊んでいた

その日は、ディズニーシーでデート

ワクワクの中、2人で園内に入る

2人はあまり派手な乗り物には乗らなかった

子供向けのメリーゴーランドが空いていたので、それに乗った
2人は、ちょっと恥ずかしくて、照れていた

バイキングで昼食を食べた

みさき、が、方向音痴だったので、アップルはただただ歩かされた

気づいたら、また、バイキングで夕食を食べた

夜な夜な、みさき、は、アップルにキスを迫ったが

なかなか、アップルも 踏ん切りがつかない、恥ずかしいのだ

それを、ずっと見ている女性が目に入った

みさき、は、堪えたが、しばらくして、なんとなくキスは諦めた

右ポケットの携帯電話が振動したが、みさき、は、これを無視した

すると、アップルが笑って、「なんで出ないの？」と云った

電話の主は、アップルだった、

こういうイタズラは、アップルは好きだった

真面目な、みさき、の性格をからかうのだ

帰りは寒かった

みさき、は、自分の着ていたオレンジ色のセーターを脱いで、アップルに着させた

ある日は大雨、

そんな中、ベルが鳴った

出ると、アップルがいて

はいっ、と、灰色にシューズの刺繍のTシャツを渡した

コンビニで待ち合わせをした

しかし、時間になっても来ない

みさき、は、仕方なく雑誌を立ち読みしていた

すると、誰かにぶつかったので

「あっ、すみません」

と言うと

「ああ、」と言って、笑っていたのは、アップルだった

また、ひやかした

アップルの誕生日が近づいていた

とにかく、暇、

行徳の中で、引っ越しした

近くのジャズ喫茶に一人で行き

カクテルを頼んだ

しかし、みさき、が、人生論を語るので、

のんきな店主は苛立った

それに反応して苛立った、みさきは、

小銭をばらまいて店を出た

柔術教室に通うも長くは続かず、すぐにやめた

謝肉祭の日、みさきは、まず、マッサージ屋にアップルを誘った、アップルは、ちょっと真面目そうに対応した

さらには、スナックの中国人のママが経営する、ショップで、みさき、は、無神経にも、「今日は、アップルの誕生日ですよ」と言ってしまった、アップルは、慌てて、「違う、違う」と云ったが遅く、ママは、「アップルちゃん、好きなもの1つ持っていきなさい」と云った、みさき、は、自分の鈍感さを恥じた

さらには、綺麗なステーキ屋で、高級なステーキを2つ注文した、店主も少し、いぶかしげに対応して、こちらをチラチラ見ていた、アップルは少し気まずそうに、かなり長い待ち時間を気にしていた

ケーキは仕返しをした、同じケーキ屋で、アップルちゃん、というチョコレートのカードを乗せて、プレゼントした、しかし、ここでもあいにく、ママが同じようなケーキを店に準備していたので、重なってしまった

ある帰り道、酒に酔ったアップルが、自分の尻の赤いパンツを触れと手を握って動かした、みさき、は、あまり興奮しなかった

神は、みさき、を公園に連れ出した

みさき、は、鳩の背中を追いかけた

皆、不審な目をしている

カラスと睨み合った

神がたずねた

「生きることは何？」

「生きること、そうか、生きればよかったんだ」なんとなく腑に落ちた

店に行った、

みさき、は、アップルに迫った

「おい、俺の指を逆に折れ！」

アップルは、震えて、タバコを持つ手が...

気づいたら、みさきは、「もういい！」と言い、店を出た

そして、彷徨い 歩き続けた、長い距離のはずだった

しかし、気づいたら、アップルの家の玄関の前にいた

みさきは、インターフォンを何度も、何度も、鳴らした

かすかに声は聴こえたが、アップルはイラついた声を出し、顔を見せなかった

みさき、は、その後、精神病院に入院した

ある日、アップルに会いに、店に行ったが、「アップルちゃんはやめましたよ」

と言われた

その日、1人で、行徳のラブホテルで眠った

尾崎豊の「シェリー」が流れていた...

「完」